

国体ブロック予選におけるコロナ対策の留意事項

(北海道ボート協会)

標記大会の開催に当たり新型コロナウイルスの拡大防止のため、日本ボート協会が作成した「新型コロナウイルス感染症対策を伴うボート競技大会開催に関するガイドライン」を参考に次のとおり実施することとします。

1 感染予防のための実施方法の簡素化

- ・代表者会議についてはZoomで開催します。
- ・閉会式については入賞クルーの代表者のみの参加とし、表彰状については手渡しをせず机の上に置かれた賞状を取りにくることとします。
- ・レーンプレートについては基本的には各クルーが用意することとし、保有していないクルーについては本部で貸し出すこととします。
- ・記録会のアナウンスは最小限度とし、記録発表等もアナウンスはせずに掲示板に結果を掲示することとします。
- ・その他必要な連絡事項はHP上でも掲載しますので確認願います。

2 基本的なスタンス

- ・発熱(37.5度C上)、体調不良の者については大会への参加は見合わせてください。(全ての選手、コーチ、役員、大会スタッフ(以下「参加者」という))
- ・会場ではできる限り社会的距離が確保できるように努めてください。

3 参加者の健康スクリーニング

- ・参加者は大会開催1週間前から検温、体調チェックを各自で実施し健康管理に努めてください。
- ・参加者は各自で検温を実施した上で健康質問票に記入し、大会本部に提出してください。
大会期間中レースがある日は毎日提出すること。検温未実施の方は本部で検温を実施します。極力各団体毎に取りまとめて提出してください。

4 マスク等の使用

- ・参加者はマスクの着用を義務付けます。
- ・漕手はレース時のマスクの着用義務を免除します。
- ・コックスはレース時のマスクの着用を義務づけます。加えてフェイスシールド及びコックスボックスの使用を推奨します。
- ・マスク着用時は熱中症とならないよう健康管理に十分留意願います。
- ・アナウンスを必要とする部署(主審、放送係等)については、マスクに替えてフェイスシールドを着用することを認めます。

5 衛生管理

- ・本部テント内にアルコールの手指消毒剤を用意しておきます。

・会場の共有設備(設備、器具、テーブル、イス等(審判用具も含む))は消毒用ふき取り布で洗浄・消毒を行います。

・複数の人が同じものを触るような場所では、使い捨てゴム手袋を使用します。(レーンプレート(配艇係)、記録用紙の伝達(記録係、審判長、競漕委員長)等)

6 研修センターの利用について

・研修センター内には荷物を置かないでください。(車や屋外(テント、敷物等)で保管してください。)

・着替えは更衣室で行ってください。

・休憩は原則屋外で行ってください。(雨天時除く)